

令和5年度 年 報



2024

岐阜県文化財保護センター

目 次

1	センターの概要	1
2	事業実績	2
3	発掘作業	3
4	整理等作業	4
5	発掘調査報告書	5
6	普及活用事業	6
7	研究・支援事業	8
8	普及活用事業の記録	8

1 センターの概要

名称

岐阜県文化財保護センター

設置場所

岐阜県文化財保護センター
同 飛騨駐在事務所
同 飛騨国府事務所

岐阜市三田洞東 1-26-1
高山市丹生川町坊方 2109
高山市国府町名張字峠 1425-1

設置根拠

岐阜県立学校以外の教育機関の設置に関する条例（昭和36年条例第4号）

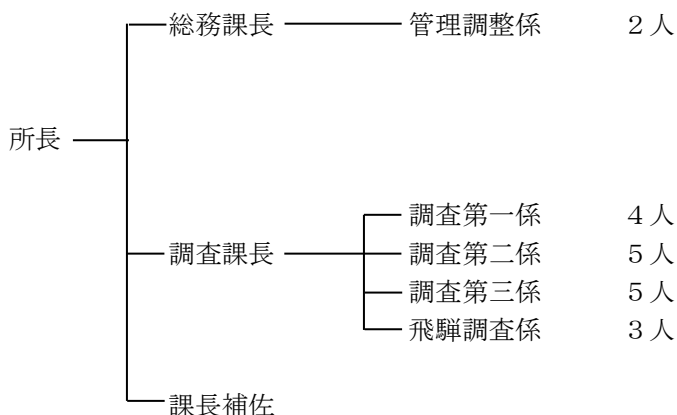
所掌事務

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査及び研究に関すること
- (2) 埋蔵文化財に係る開発事業の調整に関すること
- (3) 発掘調査技術の指導及び研修に関すること
- (4) 出土品の保存処理及び収蔵に関すること
- (5) 埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行に関すること
- (6) 文化財の保護思想の普及に関すること
- (7) 前各号に定めるもののほか、岐阜県文化財保護センターの事業に関すること

事業体系図



組織図



2 事業実績

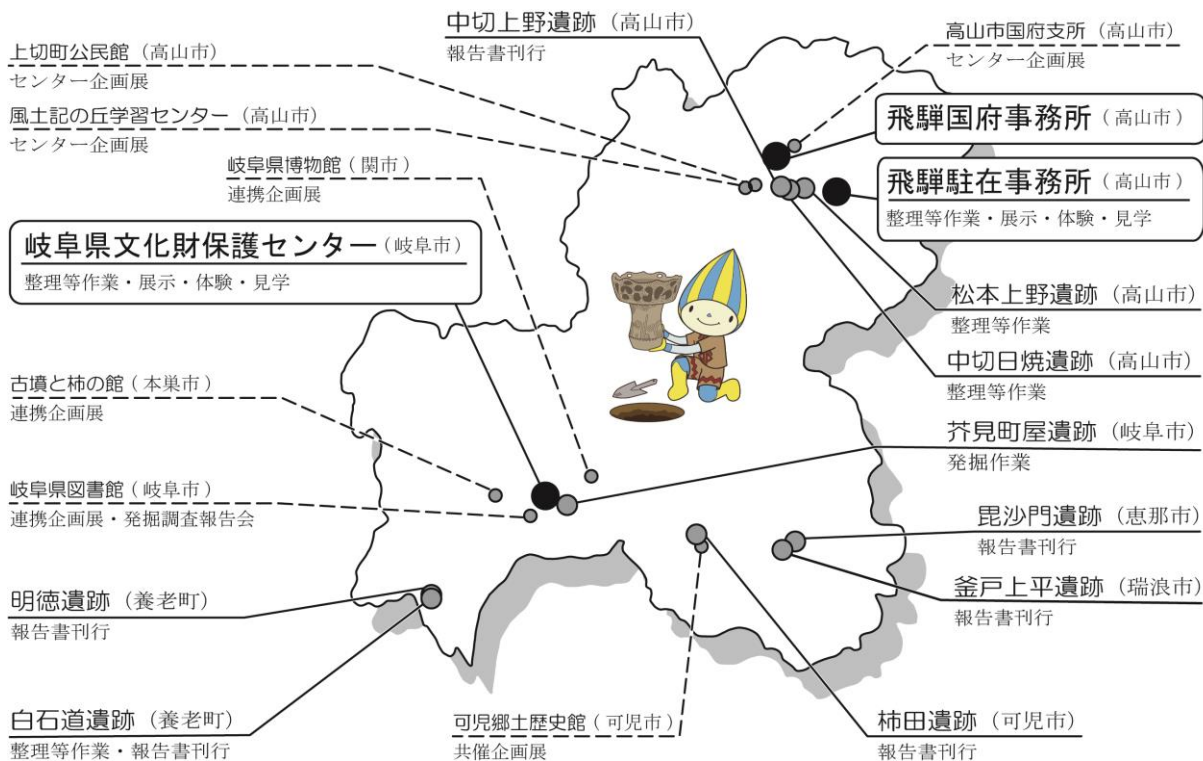
これまでの成果

発掘調査	調査遺跡数 199 遺跡（古墳群・古窯跡群は1遺跡として計上） 調査面積 737,689.5 m ² 発掘調査報告書 166 集、他1集
発掘調査報告会	平成5年度から毎年開催
タイムスリップ探検隊	平成4年度から毎年開催（令和元・3年度は中止）
発掘速報展	平成8年度から26年度まで開催（平成22年度から岐阜県博物館と共催）

【これまでの主な発掘調査事業】

調査原因	調査年度	主な遺跡
徳山ダム	H3～18	戸入村平遺跡(揖斐川町)、塚奥山遺跡(揖斐川町)
東海北陸自動車道	H3～9	西ヶ洞遺跡(郡上市)、勝更白山神社周辺遺跡(郡上市)
東海環状自動車道	H4～現在	柿田遺跡(可児市・御嵩町)、佐口遺跡(美濃加茂市)、 重竹遺跡(関市)、荒尾南遺跡(大垣市)、北方京水遺跡(大垣市)、 上保本郷遺跡(本巣市)、洞第2古墳群(岐阜市)
中部縦貫自動車道	H13～現在	上岩野遺跡(高山市)、赤保木遺跡(高山市)、野内遺跡(高山市)、 上切寺尾古墳群(高山市)、中切上野遺跡(高山市)
丹生川ダム	H5～8	西田遺跡(高山市)、カクシクレ遺跡(高山市)
県工業団地造成 ・VRテクノジャパン ・ソフトピア ・関テクノハイランド	H5～8 H5～7 H8～11	船山北遺跡(各務原市)、船山北古墳群(各務原市) 今宿遺跡(大垣市) 砂行遺跡(関市)、深橋前遺跡(関市)、南青柳遺跡(関市)

令和5年度事業概要



3 発掘作業

あくたみまちや

芥見町屋遺跡

所在地 岐阜市祇園地内
立地 自然堤防
事業名 令和5年度国道156号岐阜東BP建設事業
事業者名 国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所
調査期間 令和5年5月8日～令和5年12月27日
調査面積 6,697.1 m²
種別 散布地・集落跡
時代 縄文時代、弥生時代、古墳時代、古代、中世、近世

主な遺構 竪穴建物、掘立柱建物、溝、土器焼成遺構、道路状遺構など
主な遺物 縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗など

調査概要

当遺跡は、長良川左岸の自然堤防上に立地する。令和3年度から本発掘調査を開始した。昨年度までの調査で、弥生時代後期から古墳時代初め及び奈良時代から平安時代の竪穴建物を87軒、中世の土坑や井戸、近世の郡上街道と考えられる道路状遺構などを確認したほか、土師器や須恵器など約16万点の遺物が出土した。

今年度の調査では、弥生時代後期から古墳時代初めについては、竪穴建物51軒を新たに確認するとともに、起伏のある地形の微高地上に集中して営まれていたことが判明した。奈良時代から平安時代については、新たに竪穴建物34軒を検出したほか、集落東側に水路が掘削され、多量の美濃須衛窯産須恵器が投棄されている状況を確認した。また、集落内において、土師器甕が生産されていたことが判明した。このほか、近世の郡上街道の規模や構造が明らかになるとともに、旧地割から復元できる位置や形状と一致することを確認した。



土器焼成遺構



遺跡の位置

国土地理院発行1:25,000地形図「岐阜北部」に一部加筆



発掘区全景



竪穴建物群（弥生時代後期から古墳時代初頭）



郡上街道

4 整理等作業

<p>なかぎりひやけ 中切日焼遺跡</p> <p>所在地 高山市中切町 事業名[事業者名] 令和5年度中部縦貫自動車道高山清見道路事業 [国土交通省中部地方整備局高山国道事務所] 整理面積/調査面積 677.0㎡/677.0㎡ 発掘調査期間 令和元年8月26日～令和元年11月7日</p>	<p>当遺跡は、縄文時代及び古代の複合遺跡である。令和元年度に本発掘調査を実施し、古代の掘立柱建物、竪穴建物、土坑、近世の土坑を確認した。今年度は出土遺物の接合作業、補強・復元作業、実測作業、実測図トレース作業、遺構や出土遺物の挿図・写真図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、7世紀代の竪穴建物は地形に合わせた方向に建てられる一方、7世紀後半以降の竪穴建物及び掘立柱建物は真北方向に建てられ、7世紀後半を画期として建物が真北に建てられるようになったと判明した。また、隣接する日焼（炭焼き）古窯跡産とみられる古代瓦が散在して出土した。出土した遺物は、古代の土師器や須恵器、平安時代の灰釉陶器が主体である。</p>
<p>主な遺構 ○古代 掘立柱建物、竪穴建物、土坑 ○近世 土坑</p>	<p>主な遺物 ○土師器、須恵器、灰釉陶器、近世陶磁器、瓦、石器、金属製品など</p>
<p>まつもとうわの 松本上野遺跡</p> <p>所在地 高山市丹生川町 事業名[事業者名] 令和5年度中部縦貫自動車道高山清見道路事業 [国土交通省中部地方整備局高山国道事務所] 整理面積/調査面積 1,266.0㎡/1,266.0㎡ 発掘調査期間 令和4年5月19日～令和4年9月12日</p>	<p>当遺跡は、縄文時代及び平安時代中期から鎌倉時代の複合遺跡である。令和4年度に発掘調査を実施し、下呂石製の石器が集中して出土した土坑2基を始め、縄文時代のもと考えられる土坑247基と平安時代中期から鎌倉時代のもと考えられる木炭焼成坑1基を確認した。</p> <p>今年度は出土遺物の分類作業、接合作業、補強・復元作業、実測作業、実測図トレース作業、遺構や出土遺物の挿図・写真図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、木炭焼成坑ではコナラ材を使用して木炭が作られたこと、縄文土器は早期末葉から前期初頭、中期、晩期のものであることが判明した。</p>
<p>主な遺構 ○縄文時代 土坑 ○平安中期～鎌倉時代 木炭焼成坑</p>	<p>主な遺物 ○縄文土器、中近世陶磁器、石鏃、石錐、スクレイパーなど</p>
<p>しらいしみち 白石道遺跡</p> <p>所在地 養老郡養老町鷺巣地内 事業名[事業者名] 令和5年度県単道路新設改良（一般分）事業 [岐阜県大垣土木事務所] 整理面積/調査面積 676.1㎡/676.1㎡ 発掘調査期間 令和4年5月12日～令和4年8月4日</p>	<p>当遺跡は、縄文時代から近世の複合遺跡である。令和4年度に本発掘調査を実施し、古代の竪穴建物や溝状遺構、土坑を検出した。</p> <p>今年度は、出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、挿図・写真図版作成作業、報告書原稿作成作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、7世紀末頃から8世紀後葉にかけて、竪穴建物が継続的に建て替えられていたことが判明したが、竪穴建物にはカマドや炉がなく、土師器や須恵器の中に一般的な集落からはあまり出土例のないものが含まれていたことから、一般的な居住のための施設ではなく、祭祀を行うための施設であった可能性が考えられる。出土した遺物は、飛鳥時代から奈良時代の土師器や須恵器が主体である。</p>
<p>主な遺構 ○古代 竪穴建物、溝状遺構、土坑</p>	<p>主な遺物 ○土師器、須恵器など</p>



中切日焼遺跡 土器実測（拓本）作業風景



中切日焼遺跡 土器復元作業風景



松本上野遺跡 出土遺物



松本上野遺跡 土器実測（拓本）作業風景



白石道遺跡 遺物実測作業風景



白石道遺跡 出土須恵器

5 発掘調査報告書

報告書名	事業名[事業者名]	発行年月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第161集 なかざりうわの 中切上野遺跡	令和5年度中部縦貫自動車道高山清見道路事業 [国土交通省中部地方整備局高山国道事務所]	令和6年3月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第163集 かまどうえだいら 釜戸上平遺跡	令和5年度国道19号瑞浪恵那道路事業 [国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所]	令和6年3月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第164集 びしゃもん 毘沙門遺跡	令和5年度国道19号瑞浪恵那道路事業 [国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所]	令和6年3月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第165集 かきだ 柿田遺跡Ⅱ	令和5年度東海環状自動車道土岐JCT～美濃加茂IC間付加車線設置事業 [中日本高速道路株式会社名古屋支社]	令和6年3月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第166集 みょうとく 明德遺跡	令和5年度県単道路新設改良（一般分）事業 [岐阜県大垣土木事務所]	令和6年3月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第167集 しらしみち 白石道遺跡	令和5年度県単道路新設改良（一般分）事業 [岐阜県大垣土木事務所]	令和6年3月

6 普及活用事業

1 教育普及 (1) 出前授業

学校	内容	期日	参加人数
大垣市立北小学校6年生	縄文時代の石器や土器に触れて、昔の人々の暮らしについて知る	5月19日(金)	4クラス130人
白川町立白川小学校6年生	校区内中之森遺跡の見学に関わらせ、講師からの講義を受講することで、縄文時代の人々の生活や当時使われていた土器や石器についての理解を深める	5月29日(月)	1クラス14人
可児市・御嵩町中学校組合立共和中学校1年生	縄文時代の石器の使用方法を話し合うことを通じて、自分が住んでいる街の歴史的遺産を知る	5月30日(火)	3クラス55人
各務原市立鶴沼第二小学校6年生	縄文のむらの暮らしの様子に関心をもつ	6月2日(木)	4クラス116人
垂井町立東小学校6年生	「縄文のむらから古墳のくにへ」の学習で、県内から出土した縄文土器と弥生土器等に直接触れることで、それぞれの時代の土器や道具の特徴に気づき、当時の人々がどのように暮らし、暮らしがどのように変化していったのかを話し合う	6月5日(月)	2クラス58人
白川村立白川郷学園小6・中1年生	縄文時代の暮らしについて、実物に触れてその時代の用途を考えることで当時の人々の工夫や努力を知り、歴史に興味・関心をもつ	6月5日(月)	2クラス21人
高山市立東小学校6年生	縄文・弥生時代の土器や石器を観察したり触ったりすることで、各時代の文化についての理解を深める	6月6日(火)	2クラス62人
大野町立西小学校6年生	「縄文のむらから古墳のくにへ」の単元に入る前に、実際に縄文土器や弥生土器を見て興味・関心を高める	6月6日(火)	1クラス28人
高山市立花里小学校6年生	縄文時代の暮らしについて、自分たちの住んでいる地域の遺跡から出土した「食」に関連する遺物(土器・石器)を観察し、その特徴から用途を考えることで当時の人々の工夫や努力を知り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月8日(木)	2クラス41人
御嵩町立御嵩小学校6年生	縄文時代と弥生時代の出土品を比べて、暮らしの変化や人々の工夫など興味をもつ	6月9日(金)	3クラス82人
岐阜市立岩野田小学校6年生	縄文時代と弥生時代の出土品を見比べる活動を通して、時代の変化を読み取る	6月12日(月)	2クラス45人
岐阜市立藍川小学校6年生	縄文時代の暮らしについて、自分たちの住んでいる地域の遺物(土器・石器)を観察し、その特徴から用途を考えることで当時の人々の工夫や努力を知り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月13日(火)	2クラス39人
大垣市立綾里小学校6年生	縄文土器や石器に触れ、縄文時代の暮らしについて考えることで、歴史学習の導入にあてる	6月15日(木)	1クラス18人
下呂市立萩原小学校6年生	縄文時代から平安時代の道具に触れ、歴史に興味・関心をもつ	6月15日(木)	2クラス53人
輪之内町立福東小学校6年生	時代によって異なる土器の特徴を見つけ、社会科における歴史学習に興味・関心をもつ	6月16日(金)	1クラス20人
輪之内町立仁木小学校6年生	縄文土器や石器などから当時の人々の生活の知恵、生きる力を想像する活動を通して、歴史学習に興味・関心をもつ	6月19日(月)	1クラス28人
大垣市立多良小学校6年生	縄文時代や弥生時代について体験的に学ぶ	6月20日(火)	1クラス9人
笠松町立松枝小学校6年生	子どもたちがより主体的に学ぶことができるように、縄文時代から古墳時代の土器を見たり触ったりして歴史への興味・関心を高める	6月22日(木)	3クラス90人
高山市立西小学校6年生	縄文土器と弥生土器を比較しそれぞれの土器の特徴やその変化について気づくことで、弥生時代の人々の生活の様式と土器の様式の変化が関係していることを知り、歴史に興味・関心をもつ	6月22日(木)	1クラス26人
郡上市立川合小学校6年生	縄文時代から古墳時代の遺跡から出土した土器を観察し、時代の特徴を考えさせる	6月23日(金)	1クラス20人
高山立丹生川小学校6年生	縄文時代の暮らしの様子について関心をもち、理解する	6月26日(月)	1クラス37人
山県市立大桑小学校5・6年生	身近なところから発掘された土器を目の前で見ることにより、学習をより確かなものにする	6月26日(月)	1クラス11人
高山市立宮小学校6年生	県内から出土した縄文土器や石器に直接触れる授業を通して、歴史や郷土の成り立ちに興味・関心をもつ	6月27日(火)	1クラス23人
可児市立帷子小学校6年生	縄文土器と弥生土器を比較し、それぞれの土器の特徴やその変化について気付くことで、弥生時代の人々の生活や土器様式の変化が関係していることを知り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	6月27日(火)	3クラス104人
岐阜市立日野小学校6年生	縄文時代の暮らしについて、実物の土器や石器を観察しその特徴から用途を考え、当時の人々の工夫や努力を知り、歴史に興味・関心を持つ	6月29日(木)	2クラス61人
高山市立南小学校6年生	縄文時代の遺物に触れる学習を行うことで、歴史に興味を持って学習を進められるようにする	6月29日(木)	2クラス59人
川辺町立川辺東小学校6年生	縄文時代から古墳時代にかけての遺物に触れたり、講師の先生の話の話を聞いたりすることを通して、歴史に関する興味・関心を高めるとともに、歴史の学習の理解を深める	6月30日(金)	1クラス29人
郡上市立明宝小学校6年生	縄文時代から古墳時代の土器等を見て、土器の変化とともに、生活が変化していったことに気づき、地域の発掘調査から中央とのつながりが分り、ふるさとの歴史に興味・関心をもつ	7月3日(月)	1クラス11人
大垣市立墨俣小学校6年生	縄文時代と弥生時代の出土品を観察する活動を通して、それぞれの時代の人々の生活に興味をもつ	7月4日(火)	2クラス43人
神戸町立下宮小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器や石器に触れ、社会科の学習に生かす	7月6日(木)	1クラス25人
大垣市立川並小学校6年生	縄文時代や弥生時代頃の人々の生活の変化を、実際の土器を見たり土器に触れたりする学習を通して理解する	7月7日(金)	1クラス22人
岐阜県立海津明誠高等学校2年生	日本史の興味・関心を高めるとともに、理解を深める	7月11日(火)	3クラス45人
養老町立広幡小学校6年生	縄文土器と弥生土器の比較から、土器製作技術の変遷が分かる	7月14日(金)	1クラス14人
岐阜県立岐阜城北高等学校2年生	文化財保護センターの概要や地域の歴史と魅力を知り、3年次の選択科目の日本史探究について考える一助とする	8月29日(火)	1クラス14人
下呂市立下呂小学校6年生	縄文時代から平安時代にかけての遺物に触れたり、身近な遺跡の説明を聞くことを通じて、地域の歴史への関心を深める	9月1日(金)	2クラス61人
高山市立清見小学校6年生	縄文時代と弥生時代の土器の変化を見比べることを通じて、時代の変化を感じ取る	9月4日(月)	1クラス22人
土岐市立濃南中学校6年生	室町時代の文化が今の生活につながっていることを、土器の観察を通して気付く	9月11日(月)	1クラス16人
揖斐郡養基小学校養基保育所組合立養基小学校6年生	縄文時代から鎌倉時代にかけての土器に触れたり見比べたりする活動を通して、時代や人々の生活の移り変わりを考える	9月14日(木)	2クラス40人
坂祝町立坂祝小学校6年生	県内から出土した縄文時代から平安時代にかけての土器や石器に触れることで、自分たちが住んでいる地域の歴史について理解を深める	9月22日(金)	3クラス83人
岐南町立西小学校6年生	縄文時代から中世までの土器を観察しそれぞれの特徴をとらえる活動を通して、土器製作技術の変化やそれに携わる人々の工夫に気づき、歴史学習や郷土の歴史への興味・関心をもつ	9月25日(月)	3クラス88人
美濃市立牧谷小学校6年生	講師の話の話を聞いたり遺物を実際に見たりすることを通して、縄文時代から平安時代の暮らしの様子を感じる	9月26日(火)	1クラス18人
東海学院大学1年生	学科専門関連科目「日本の歴史と文化」の1回目の導入授業として、県内の埋蔵文化財等から岐阜の歴史を見る	9月28日(木)	1クラス50人
郡上市立高鷲北小学校6年生	社会科の授業における学び直し及び専門的な知識の理解を深める	9月29日(金)	1クラス10人
恵那市立串原小学校6年生・中学校2年生	遺跡から出土した遺物を見ることによって、学習内容の定着を図る	10月12日(木)	2クラス8人
揖斐川町立揖斐川中学校1年生	県内の遺跡から出土した遺物に触れる活動を通して、ふるさとの歴史や考古学に関する意欲を高める	10月20日(金)	3クラス86人
池田町立宮地小学校6年生	縄文時代から鎌倉時代にかけての土器を実際に見て学ぶことで、今後の地域の歴史の学習へとつなげる	11月10日(金)	1クラス17人
岐阜市立島中学校1年生	文化財保護に関わる仕事の内容について理解するとともに、講師の生き方を学ぶことを通じて、生徒自身が将来について考え、自己の生き方について見つめる	11月11日(土)	2クラス60人

延べ47校83クラス2,012名(美濃地域37校、飛騨地域10校)

(2) 講師派遣

派遣先	内容	期日	参加人数
令和5年度記念物保護担当者会議	「岐阜県古代・中世寺院跡総合調査の成果報告」	7月4日(火)	59人
下呂市教育研究会小学校社会科部会	「埋蔵文化財から見たふるさと岐阜の歴史～本物に触れる感動を!興味・関心を高める授業づくり～」	8月4日(金)	10人
芥見自治会連合会地頭方支部	「芥見町屋遺跡の発掘調査について」	9月3日(日)	15人
黒野城と加藤貞泰公研究会	「洞第2古墳群の調査成果について」	10月21日(土)	80人
芥見自治会連合会上芥見支部	「芥見町屋遺跡の発掘調査成果について」	2月17日(土)	15人
飛騨市神岡町公民館	「飛騨圏域の山中寺院跡 調査成果報告」	3月16日(土)	27人

(3) 総合教育センター研修(埋蔵文化財活用講座)

対象	内容	期日	参加人数
小中高等学校及び特別支援学校の教員	遺跡から出土した実物の土器・石器、発掘調査の成果などを、授業で活かす具体的な方法を紹介するとともに、実際に土器や石器に触れる活動を通して、ふるさとの文化財から学ぶことのよさを体験し、ふるさと教育に関する指導力の向上を図る	10月31日(火)	19人

(4) バックヤードツアー

対象	内容	期日	参加人数
小・中学生とその保護者	文化財保護センターの施設や業務及び所蔵する埋蔵文化財を見学したり、業務(整理等作業)やまが玉づくりを体験する	7月25日(火)	21人

(5) タイムスリップ探検隊

対象	内容	期日	参加人数
県内在住の方	県内在住の方を対象に遺跡発掘調査の見学や発掘体験を通して、埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに文化財保護思想の普及をはかる	10月7日(土)	45人

(6) 見学・体験の受け入れ

見学者	内容	期日	参加人数
高山市立丹生川中学校1年生	高山市丹生川町内の遺跡の説明、発掘された遺物の見学(総合的な学習)	5月18日(木)	37人
公益社団法人岐阜県シルバー人材センター連合会	芥見町屋遺跡発掘調査及びセンターの業務説明	7月12日(水) 10月18日(水)	8人 18人
岐阜市立芥見小学校6年生	芥見町屋遺跡の概要説明及び発掘作業見学	11月24日(金)	59人

2 生涯学習

(1) 発掘調査報告会

遺跡名	発表者(所属)	会場	期日	参加人数
上切寺尾古墳群(高山市)	三島 誠(当センター職員)	岐阜県図書館(岐阜市)	10月21日(土)	93人
県史跡 松倉城跡(高山市)	押井 正行氏(高山市教育委員会)			
湯ヶ峰山頂遺跡(下呂市)	上峯 篤史氏(南山大学准教授)			

(2) 現地公開・見学会

遺跡名	内容	期日	参加人数
芥見町屋遺跡現地見学会(岐阜市)	発掘現場を公開し、遺跡の見学、遺跡概要の説明及び遺物の展示・紹介を行う	11月25日(土)	109人

(3) 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査活用事業

名称	内容	開催期間	参加人数
山寺ウォーク	市町村文化財担当者を対象に、県内4圏域の代表的な山中寺院跡(11か寺)の見学、概要説明を行う	10月17日(火)～ 3月7日(木)	26人
ガイドマップ作成	主な古代・中世寺院跡(127寺社)のガイドマップを作成・配布し、ホームページに掲載することで調査成果を県民に還元する		

3 啓発

(1) 展示

名称	展示内容	会場	開催期間
サテライト展示	企画展(高山市上切町) 「上切町の歴史 三枝城跡」	上切町公民館(高山市)	4月12日(水)～次年度
	博物館連携企画展 中村遺跡、金ヶ崎遺跡、大平遺跡	岐阜県博物館(関市)	5月8日(月)～次年度(3回展示替え)
	企画展(高山市) 「高山市上切町の歴史 日焼遺跡」 (高山市教育委員会共催)	高山市風土記の丘学習センター(高山市)	7月21日(金)～8月24日(木)
	企画展(高山市国府町) 「国府町の歴史 荒城神社遺跡」 (高山市教育委員会共催)	高山市国府支所(高山市)	9月1日(金)～11月30日(木)
	本巣市連携企画展 「上保本郷遺跡」	古墳と柿の館(本巣市)	9月16日(土)～11月19日(日)
	可児市共催企画展 「柿田の遺跡発掘調査速報展」	可児郷土歴史館(可児市)	12月9日(土)～3月3日(日)
	図書館連携企画展 「中濃の遺跡II 可茂に生きた人々のすまい」	岐阜県図書館(岐阜市)	1月20日(土)～3月10日(日)
本館展示	塚遺跡、明德遺跡、毘沙門遺跡、赤保木遺跡、洞雲戸遺跡、釜戸上平遺跡、堅田遺跡、上保本郷遺跡の出土遺物、解説パネル展示	岐阜県文化財保護センター(岐阜市)	年間を通して展示(1回展示替え)
飛騨駐在事務所展示	上切寺尾古墳群、岩垣内遺跡の出土遺物・解説パネル展示	岐阜県文化財保護センター飛騨駐在事務所(高山市)	年間を通して展示(1回展示替え)

(2) ホームページ

内容	URL	更新
センター調査だよりや考古学コラム「きずな」等による発掘調査事業の情報提供、現地見学会などの各種イベントの案内及び報告、保管資料の活用や出前授業に関する情報を掲載	https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/21807/	随時

(3) 年報

内容	刊行
毎年度の発掘調査事業、普及活用事業及び研究・支援事業を年報として記録するとともに、関係機関へ配布し、ホームページに掲載	令和4年度の『年報23』は、令和5年3月31日に刊行及びホームページに掲載

7 研究・支援事業

(1) 出土品等の貸出

内容	実績
公共機関等からの要請に基づき、出土品や関係資料を貸し出すことにより、その活用を図る	出土品の貸出：15件 出土品の調査等：23件 写真資料等の貸出：17件 (3月8日現在)

(2) 報告書・図書等の保管

蔵書数	受け入れ登録数
発掘調査報告書57,421冊、その他の図書17,741冊、野村文庫6、660冊	発掘調査報告書1,086冊・その他の図書437冊(3月8日現在)

(3) 研究紀要

目的	掲載内容
当センターの所掌事務である「埋蔵文化財の研究」、「埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行」（岐阜県公立学校以外の教育機関の設置に関する規則第二条第一項第一号及び第五号）の業務について、「研究紀要」を作成することで成果を広く県民に還元し、本県文化の振興に寄与する。	『岐阜県文化財保護センター研究紀要』第8号（センターホームページに掲載） ・小野木学「岐阜県における古代・中世寺院の立地と変遷」 ・榎田尚人「大名による寺院の移転とその意義」

8 普及活用事業の記録



出前授業



総合教育センター研修



講師派遣



バックヤードツアー



発掘調査報告会



タイムスリップ探検隊



現地公開・見学会



令和5年度年報

岐阜県文化財保護センター年報 24

令和6年3月29日

編集・発行 岐阜県文化財保護センター

〒502-0003 岐阜市三田洞東1-26-1

TEL 058-237-8550 FAX 058-237-8551

E-mail : c21807@pref.gifu.lg.jp

URL <https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/21807/>